

相生市地域経済の分析

～地域経済分析システム(RESAS)を使った分析～

平成 27 年 7 月 1 日

相 生 市

目 次

1 観光マップ

(1) メッシュ分析（流動人口）	2P
(2) From-to 分析（滞在人口）	3P
①滞在人口（平日）	3P
②滞在人口（休日）	4P
③西播磨の自治体滞在人口率	4P
④滞在人口月別推移	6P
⑤滞在人口時間別推移	7P



2 自治体比較マップ

(1) 経済構造	8P
①企業数 ②事業所数	8P
③製造品出荷額（製造業）	9P
④付加価値額（企業単位）、⑤労働生産性（企業単位）	10P
(2) 企業活動	11P
①創業比率	11P
②黒字赤字企業比率	12P
③従業者数（事業所単位）	13P
(3) 労働環境	14P
①有効求人倍率	14P
②一人当たり賃金	15P
(4) 地方財政	16P
①一人当たり地方税	16P
②一人当たり市町民税法人分、③一人当たり固定資産税	17P

1 観光マップ

(1) メッシュ分析 (流動人口)

メッシュ分析において流動人口とは、ある地点に滞在している人の合計値をいい、この統計ではスマートフォンアプリ利用者の位置情報をもとに、市内の区域を500mメッシュ単位・1時間単位でどのくらい人がいるのかを、年・月・時間単位、平日・休日別に集計したものである。























































表中の  は1万人～3万人を、 は3万人～5万人の流動人口を示している。

相生市内においては、国道2号沿いで那波野東交差点周辺から菅原台交差点周辺と、相生駅周辺及び白龍城周辺が平日・休日とも年間通じて月に1万人以上流動人口のある流動人口の多い地域となっている。

次に多い地域は、竜泉交差点周辺及び普光沢新橋周辺が5～9か月発生している。また、青葉台セブンイレブン周辺においても2～4か月の発生が見られる。

コープデイズや市役所周辺の発生は意外と流動人口が少なくなっている。

(2014年—平日)

地区/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
青木鉄工周辺												
コープデイズ周辺												
相生市役所周辺												
旭大橋周辺												
普光沢新橋周辺												
那波野東交差点周辺												
相生駅周辺												
菅原台交差点周辺												
竜泉交差点周辺												
若狭野交差点周辺												
白龍城周辺												
那波西公園周辺												
相生産業高校周辺												
青葉台セブンイレブン周辺												
佐方周辺												

(2014年-休日)

地区/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コープデイズ周辺												
相生市役所周辺												
旭大橋周辺												
普光沢新橋周辺												
那波野東交差点周辺												
相生駅周辺												
菅原台交差点周辺												
竜泉交差点周辺												
緑ヶ丘周辺												
若狭野交差点周辺												
白龍城周辺												
相生市民病院周辺												
青葉台セブンイレブン周辺												
佐方周辺												

(2) From-to 分析 (滞在人口)

①滞在人口 (平日)

区分	県 内			県 外		
	区 域	人 数	割 合	区 域	人 数	割 合
1	相生市	31,400 人	62.8%	備前市	200 人	18.1%
2	たつの市	5,400 人	10.8%	東大阪市	100 人	9.0%
3	姫路市	3,600 人	7.2%	福山市	100 人	9.0%
4	赤穂市	3,500 人	7.0%	和気町	100 人	9.0%
5	上郡町	1,900 人	3.8%	倉敷市	100 人	9.0%
6	太子町	1,000 人	2.0%	岡山市南区	100 人	9.0%
7	加古川市	800 人	1.6%	岡山市東区	100 人	9.0%
8	宍粟市	400 人	0.8%	岡山市中区	100 人	9.0%
9	神戸市須磨区	300 人	0.6%	岡山市北区	100 人	9.0%
10	神戸市西区	300 人	0.6%	鳥取市	100 人	9.0%
その他		1,400 人	2.8%			
合計 ①		50,000 人	-	合計 ①	1,100 人	-
地域内割合			97.8%	地域外割合		2.1%
国勢調査人口			② 31,103 人			
滞在人口率 (①÷②)			1.64 倍			

【出典】株式会社 Agoop「流動人口データ」。データは2013年3月～2013年12月と2014年1月～2014年12月の1年間合計。

②滞在人口（休日）

順位	県内			県外		
	区域	人数	割合	区域	人数	割合
1	相生市	31,400人	64.0%	備前市	300人	20.0%
2	たつの市	4,400人	8.9%	東大阪市	100人	6.6%
3	姫路市	3,600人	7.3%	福山市	100人	6.6%
4	赤穂市	2,800人	5.7%	和気町	100人	6.6%
5	上郡町	2,000人	4.0%	倉敷市	100人	6.6%
6	太子町	900人	1.8%	岡山市南区	100人	6.6%
7	加古川市	800人	1.6%	岡山市東区	100人	6.6%
8	宍粟市	500人	1.0%	岡山市中区	100人	6.6%
9	明石市	400人	0.8%	岡山市北区	100人	6.6%
10	佐用町	300人	0.6%	鳥取市	100人	6.6%
その他		1,900人	3.8%	その他	300人	20.0%
合計 ①		49,000人	-	合計 ①	1,500人	-
地域内割合			97.0%	地域外割合		2.9%
国勢調査人口			② 31,103人			
滞在人口率（①÷②）			1.62倍			

【出典】株式会社 Agoop「流動人口データ」。データは2013年3月～2013年12月と2014年1月～2014年12月の1年間合計。

③西播磨の自治体滞在人口率

市町名	滞在人口率		県内順位		全国順位	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日
相生市	1.64倍	1.62倍	30位	34位	1,163位	1,148位
姫路市	1.49倍	1.46倍	46位	47位	1,513位	1,537位
赤穂市	1.54倍	1.55倍	40位	41位	1,407位	1,327位
たつの市	1.78倍	1.67倍	18位	27位	847位	1,009位
宍粟市	1.38倍	1.39倍	49位	49位	1,678位	1,647位
太子町	1.98倍	1.93倍	10位	6位	471位	416位
上郡町	1.73倍	1.53倍	22位	44位	969位	1,381位
佐用町	1.63倍	1.56倍	32位	38位	1,197位	1,293位

※順位にカウントする合計数は政令指定都市の区を含めた数で、全国は1,891、兵庫県は49。

※前表の続き

市町名	地域内割合		相生市からの滞在人口		地域外割合	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日
相生市	97.8%	97.0%	31,400人	31,400人	2.1%	2.9%
姫路市	95.2%	94.7%	4,700人	5,800人	4.7%	5.2%
赤穂市	93.2%	91.1%	4,300人	3,500人	6.7%	8.8%
たつの市	97.4%	96.1%	6,100人	4,400人	2.5%	3.8%
宍粟市	98.5%	97.0%	200人	400人	1.4%	2.9%
太子町	99.5%	99.0%	1,100人	1,000人	0.4%	0.9%
上郡町	97.9%	99.2%	1,600人	1,400人	2.0%	0.7%
佐用町	93.6%	92.3%	300人	300人	6.3%	7.6%

From-to 分析（滞在人口）は、平日・休日別にどの地域から来る人が多く滞在しているのかを把握する調査である。

滞在人口とは、市区町村単位で滞留時間が2時間以上の人口をいう。

①②の表より、本市の滞在人口率は平日が人口1.64倍、休日が1.62倍であり、休日よりも平日の倍率が高い。また、県内と県外の地域割合を見ると、県内である地域内割合が97.0%、県外である地域外割合が2.9%と大部分が地域内からの滞在人口となっているとともに、平日・休日を通じて地域内の滞在区域の上位は西播磨の市町となっている。さらに、平日と休日の西播磨地域の市町からの滞在人口では、多くが平日よりも休日の滞在人口が減少している。

これらのことから、相生市での滞在人口の大部分は観光目的よりも、通勤・通学等で入ってくる人が多いことが予想できる。

一方、本市での地域外において滞在人口の多い区域は、岡山県内の市町が多くなっており、これらの区域からの滞在人口に平日と休日大きな変化が無いことから、通勤・通学者の可能性が高い。

なお、平日より休日において滞在人口が増加している区域は、上郡町、宍粟市、明石市、佐用町となっているほか、県内・県外ともその他の区域からの滞在人口の増加が見られることから、これらについては観光や買い物などではないかと予測できる。

③の表は、西播磨の市町についてまとめたものである。

西播磨の5市3町において、滞在人口率が平日より休日に高くなる自治体は、赤穂市と宍粟市の2市となっており、この2市については観光・買い物等の滞在

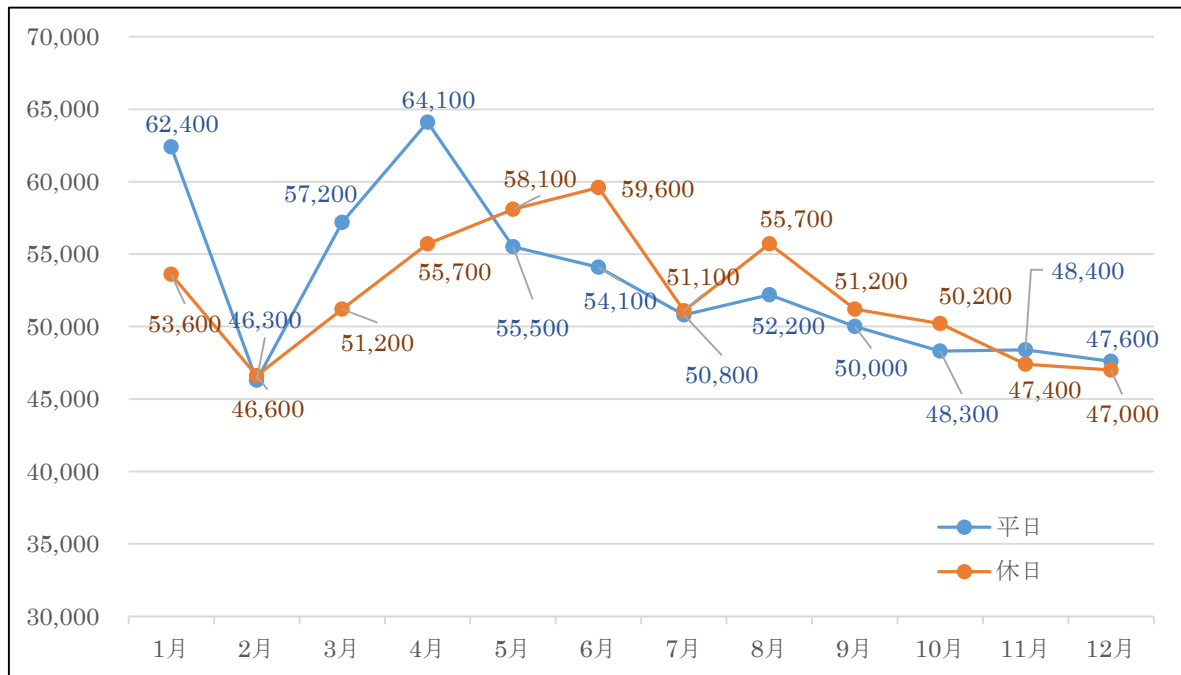
人口が多いものと思われる。一方、この2市以外はいずれも休日よりも平日の滞在人口率の方が高くなっており、観光や買い物等よりも通勤・通学者が多い市町と予測される。なお、姫路市については、観光・買い物等において西播磨では最も人数が多いと思われるが、それ以上に平日における通勤・通学者の人数が上回るため、平日より休日の滞在人口率が下回っているのではないかとと思われる。

次に、①と③の表により、相生市へ入る市町と相生市から他市町へ入った人数を比較してみると、平日において相生市への流入超過となる市町は、上郡町（+300人）、宍粟市（+200人）、佐用町（+100人）の3市町、逆に相生市から流出超過となる市町は姫路市（▲1,100人）、赤穂市（▲800人）、たつの市（▲700人）、太子町（▲100人）となっている。

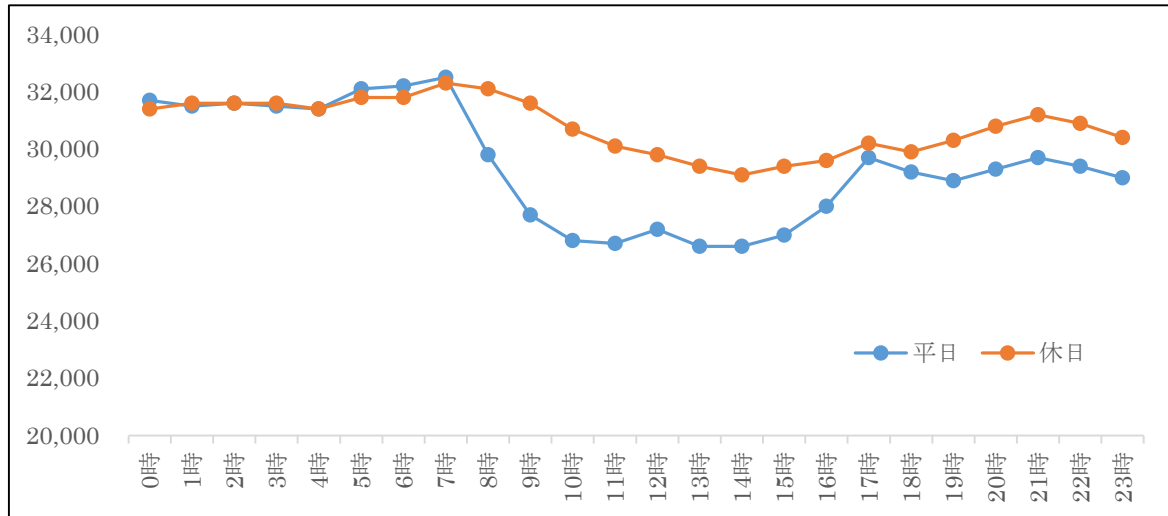
これらを休日で見ると、相生市への流入超過となる市町は上郡町（+600人）、宍粟市（+100人）の2市町であり、相生市からの流出超過となる市町は姫路市（▲2,200人）、赤穂市（▲700人）、太子町（▲100人）となっている。

平日と休日の比較において、平日より休日の流出超過が増加している市町は姫路市のみ（▲2,200人）であり、これらは買い物やレジャー等での流出超過と予測される。

④滞在人口月別推移



⑤滞在人口時間別推移



(単位：千人)

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
平日	31.7	31.5	31.6	31.5	31.4	32.1	32.2	32.5	29.8	27.7	26.8	26.7
休日	31.4	31.6	31.6	31.6	31.4	31.8	31.8	32.3	32.1	31.6	30.7	30.1
時間	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
平日	27.2	26.6	26.6	27.0	28.0	29.7	29.2	28.9	29.3	29.7	29.4	29.0
休日	29.8	29.4	29.1	29.4	29.6	30.2	29.9	30.3	30.8	31.2	30.9	30.4

グラフ④の滞在人口月別推移において、休日が平日を上回っている月は、年間7か月間となっており、この内、平日よりも休日が上回る差が大きい月は6月（差5,500人）、次いで8月（差3,500人）、5月（差2,600人）となっている。これらは、ペーロン祭のほか、羅漢の里などを中心に訪れる方が増加するのではないかと予測される。

一方、休日が平日を下回る月は年間5か月間となっており、この内、下回る差の大きい月は、1月（8,800人）、4月（8,400人）、3月（6,000人）となっている。

なお、一年を通じて滞在人口が最も多い月は、平日が4月、休日が6月、逆に最も少ない月は、平日・休日とも2月となっている。

次に、グラフ⑤の滞在人口時間別推移を見ると、平日においては午前7時を境に滞在人口が減少し始め、午後2時から減少した滞在人口が上昇に転じ午後5時には減少した滞在人口が上昇のピークを迎える。これらから、相生市においては平日には通勤・通学者などが市外に出かけ、夕方には帰宅していることが読み取れる。

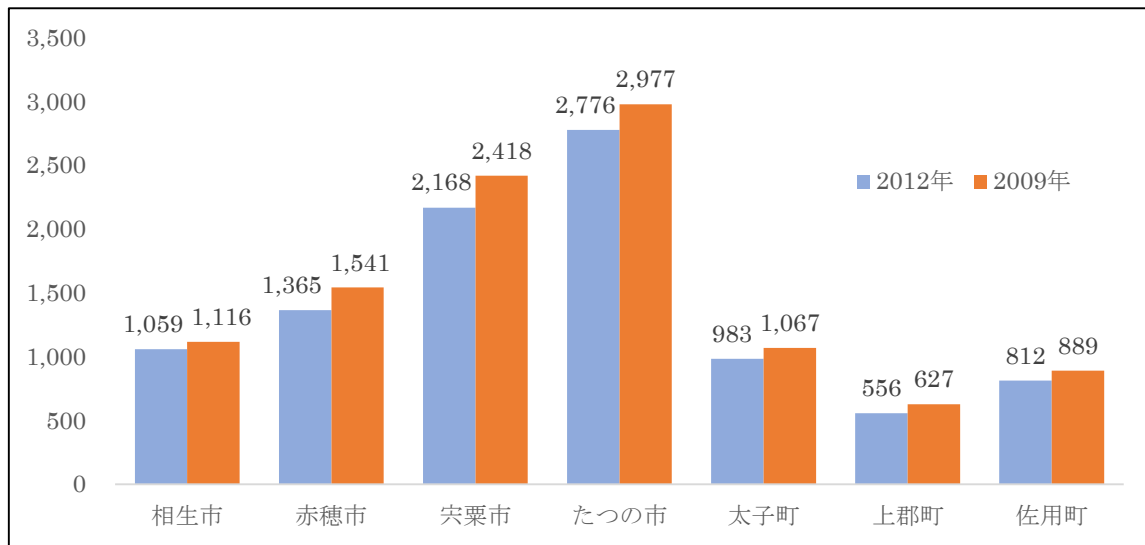
一方、休日においては、平日同様に午前7時から減少に転じるが、その減少カーブは平日よりも緩やかであるとともに、減少数も平日よりも落ち込みが少ない。これらは、一部で通勤・通学者がいるものの、休日の朝ゆっくりとした時間帯から買い物等で市外に出かけ、夕方に帰宅しているものと予測できる。

2 自治体比較マップ

自治体比較マップにおいては、本市の「経済構造」、「企業活動」、「労働環境」、「地方財政」について分析・把握をすることにより、本市の立ち位置を確認したうえで、強みと弱みを分析し、どのような施策が必要かに役立てるものである。

(1) 経済構造

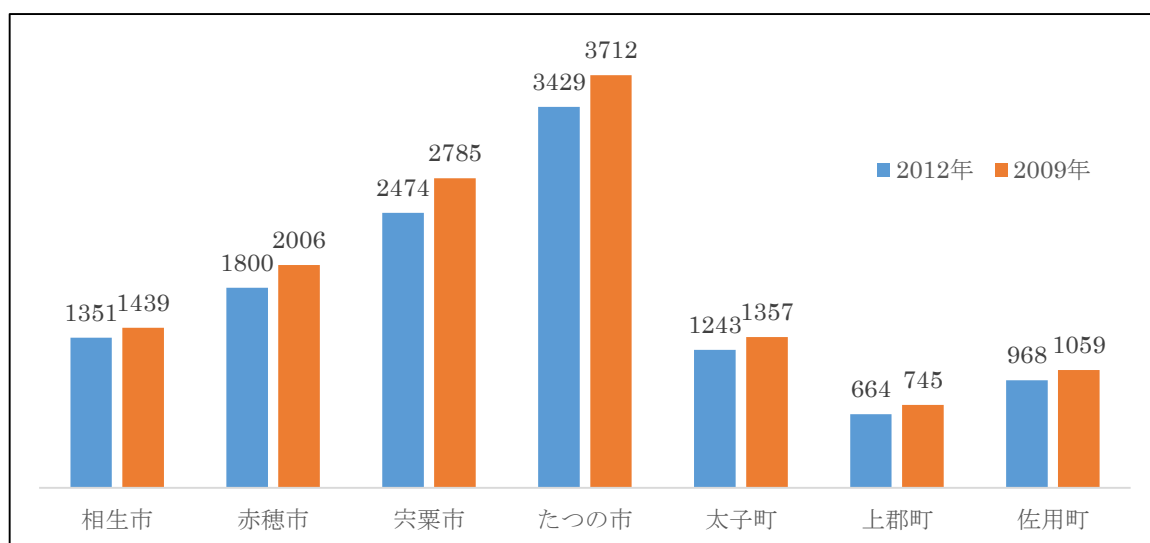
① 企業数



【企業数順位 (2012年)】

市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	30位	25位	16位	11位	31位	38位	34位
全国順位	766位	643位	420位	319位	808位	1059位	906位

② 事業所数



【事業所数順位（2012年）】

市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	29位	26位	19位	11位	31位	38位	36位
全国順位	763位	620位	472位	336位	809位	1073位	923位

企業数と事業所数について、企業数は法人及び個人をカウントした数、事業所は本社、支社、支店、営業所それぞれ一つとしてカウントした数である。

2012年における相生市における企業数は1,059社、事業所数が1,351所となっている。企業数について西播磨の市町を人口一人当たりで比較すると、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町は概ね3%前後と同レベルの比率となっているが、宍粟市と佐用町では5%前後と高くなっている。

企業数、事業所数とも、西播磨の市町においては2009年から2012年において、いずれも減少が見られるが、相生市の減少割合は企業数で▲5.11%、事業所数で▲6.11%となっており、西播磨市町中では最も減少率が少ない。

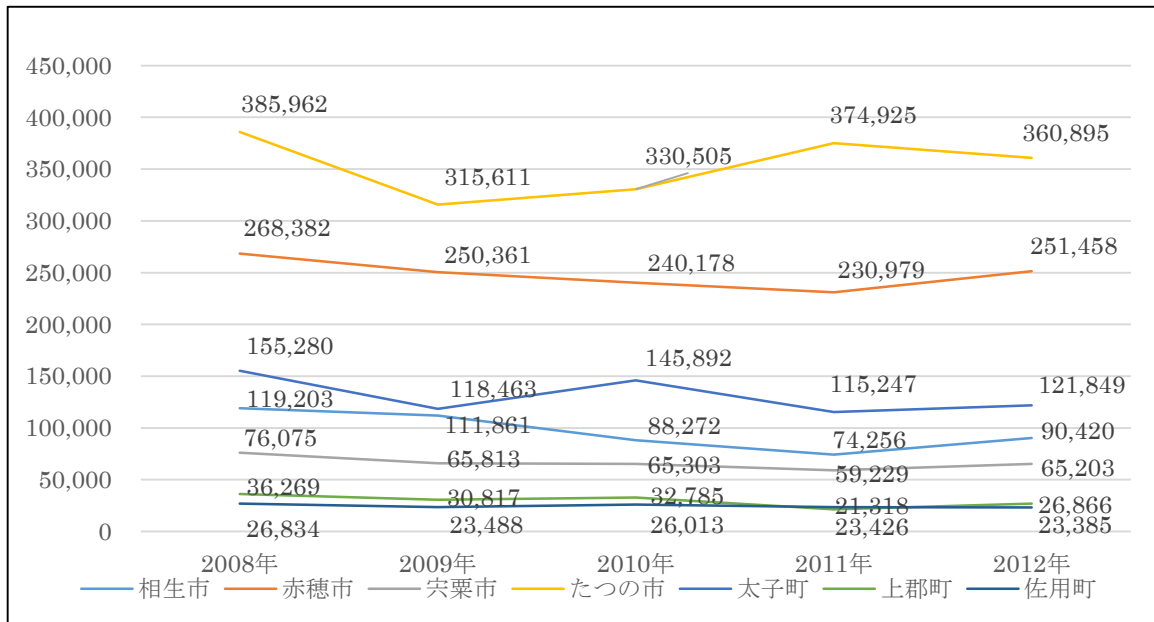
(参考)

【国勢調査人口（2012年）】

市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	31,158	50,523	40,938	80,518	33,438	16,636	19,265

③製造品出荷額等（製造業）

単位：百万円



【製造出荷額順位（2012年）】

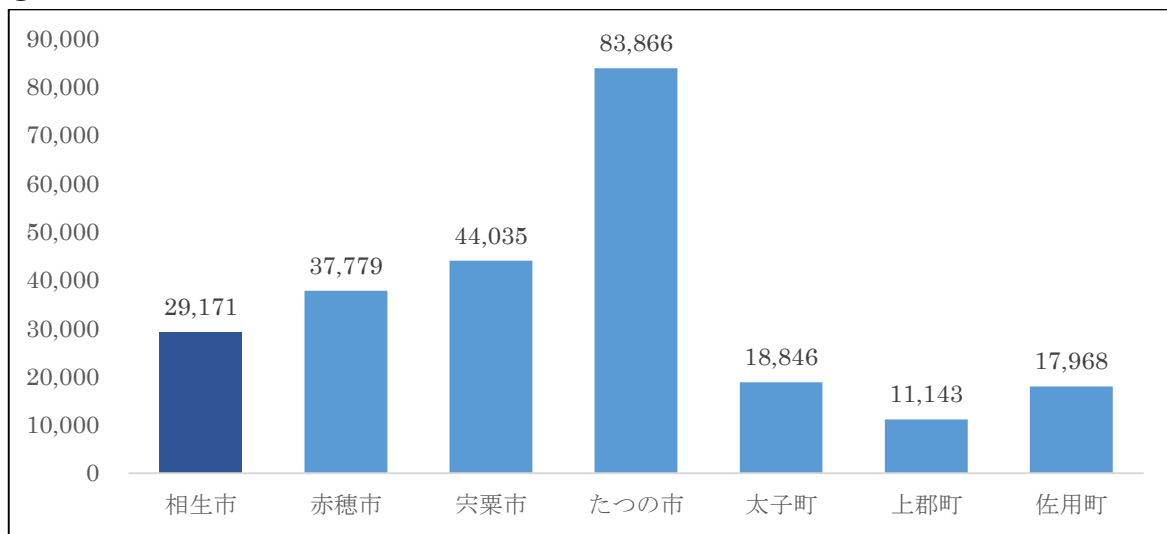
市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	23位	13位	28位	11位	21位	35位	36位
全国順位	575位	280位	673位	198位	484位	963位	1003位

製造出荷額について、2012年の相生市は904億2,000万円で県内23位とほぼ中間に位置している。人口一人当たりの製造出荷額を西播磨市町で見ると、赤穂市が最も高く、次いでたつの市、太子町、相生市の順となる。この3市1町以外の1市2町は低い水準となっている。

相生市の製造業における人口一人当たり製造出荷額が、たつの市、太子町の劣後となっていることは、工業都市として発展して本市の経緯において、危機感を持って対応する必要がある。

④付加価値額（企業単位）

単位：百万円

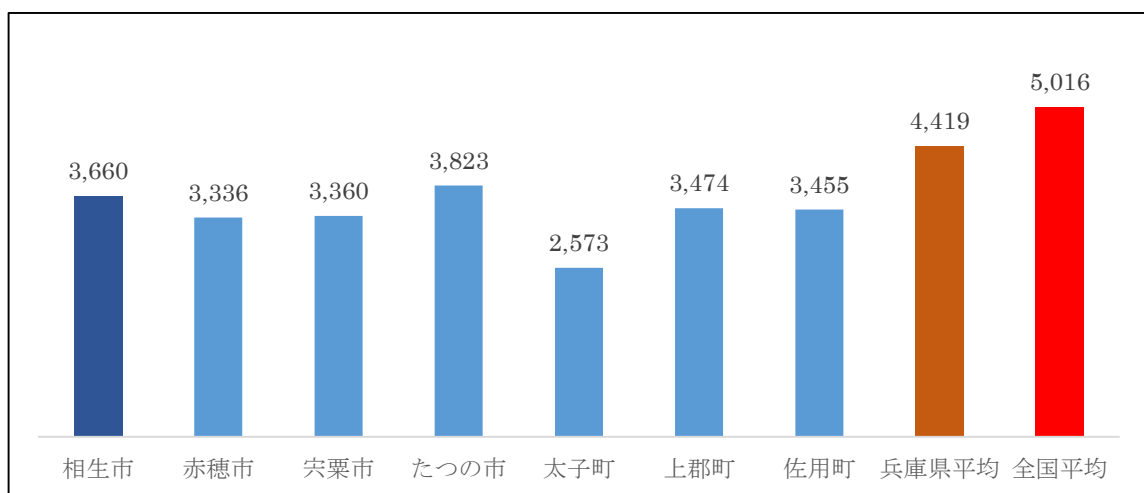


【付加価値額順位（2012年）】

市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	29位	26位	22位	11位	34位	38位	35位
全国順位	736位	632位	562位	324位	913位	1103位	927位

⑤労働生産性（企業単位）

単位：千円／人



【労働生産性順位（2012年）】

市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	22位	32位	30位	19位	40位	27位	28位
全国順位	520位	785位	768位	417位	1424位	681位	698位

労働生産性とは、従業員1人当たり、どれだけの付加価値を生み出しているのかを表す指標で、付加価値分析の指標の1つである。算式としては付加価値を従業員数で除したもの。労働生産性が高いということは、少ない従業員で大きな付加価値を獲得していることになり、例えば、ロボットによる自動化が進んだ製造業では労働生産性が高くなる。労働集約産業においては労働生産性が低くなる傾向にあり、業種により労働生産性にバラつきがある。

労働生産性の高い業種は、不動産業、情報通信業で高く、低い業種は飲食店・宿泊業、小売業などとなっている。また、大企業よりも中小企業で労働生産性は低くなる傾向がある。

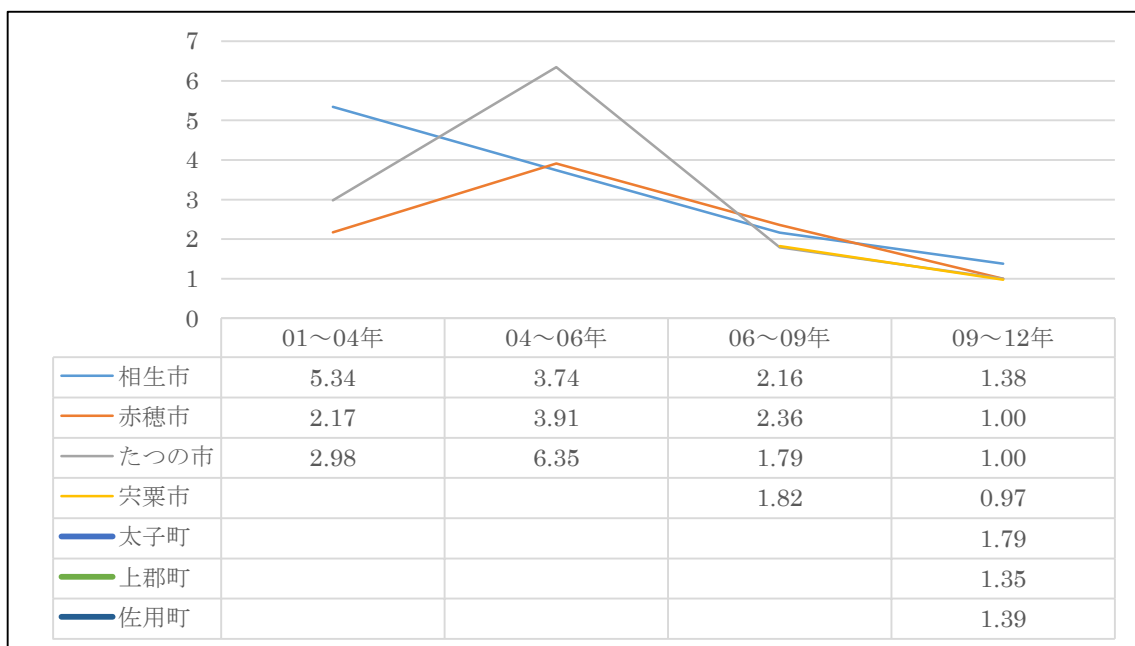
相生市の労働生産性は、一人当たり366万円、県内順位22位でほぼ中間に位置するが、県平均及び全国平均より低くなっている。

また市内において最も大きい業種である製造業の内、輸送用機械器具製造業で見ると、一人当たり612万3千円で県内順位8位、全国順位187位へとランクアップし、西播磨の市町の中で最も高くなっている。

（2）企業活動

①創業比率

単位：％



【創業比率順位（2012年）】

市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	18位	29位	35位	29位	11位	21位	17位
全国順位	810位	1203位	1243位	1203位	429位	841位	801位

創業比率とは、特定期間において新設事業所（企業）を平均にならした数を期首において存在していた事業所（企業）を除いて得た率で示すもの。

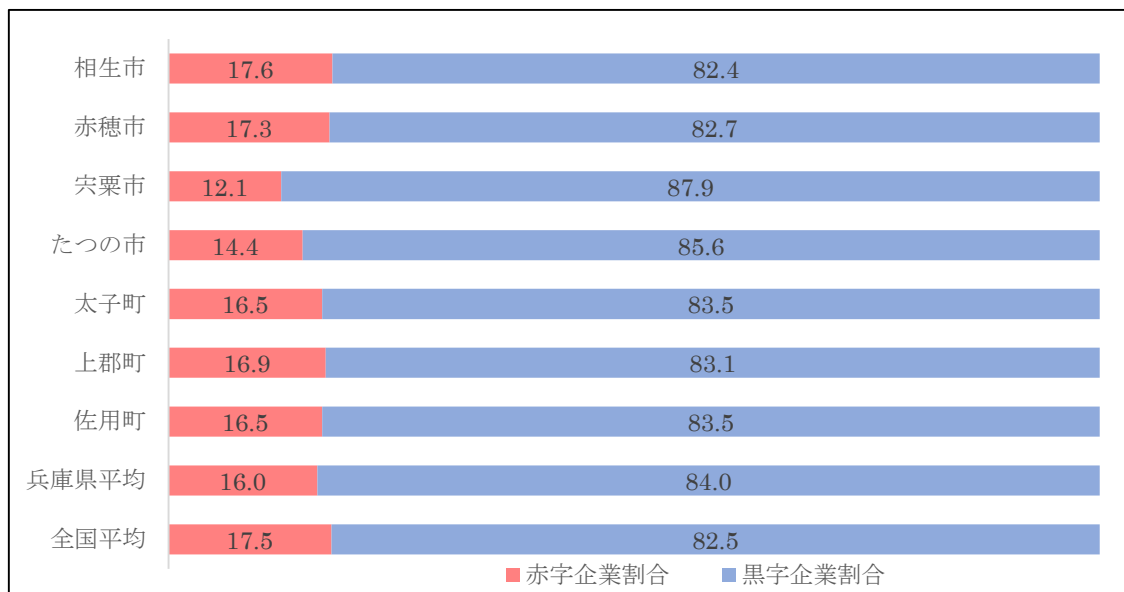
創業比率は、新規に開設する割合を見ることから、地域の活力度を計る一つの指標として見ることができる。

相生市の2009年から2012年における創業比率は1.38%、県内18位、全国810位で、ほぼ中間に位置する。西播磨市町との比較では、最も高い太子町の1.79%、2番目の佐用町の1.39%に次いで相生市は3番目となる。

これら創業比率を上げるためには、創業支援事業計画を作り産業競争力強化法に基づく認定を受けて、創業支援講座等の開設なども有効な施策であると考えられる。

②黒字赤字企業比率（2012年）

単位：%



【黒字企業比率順位（2012年）】

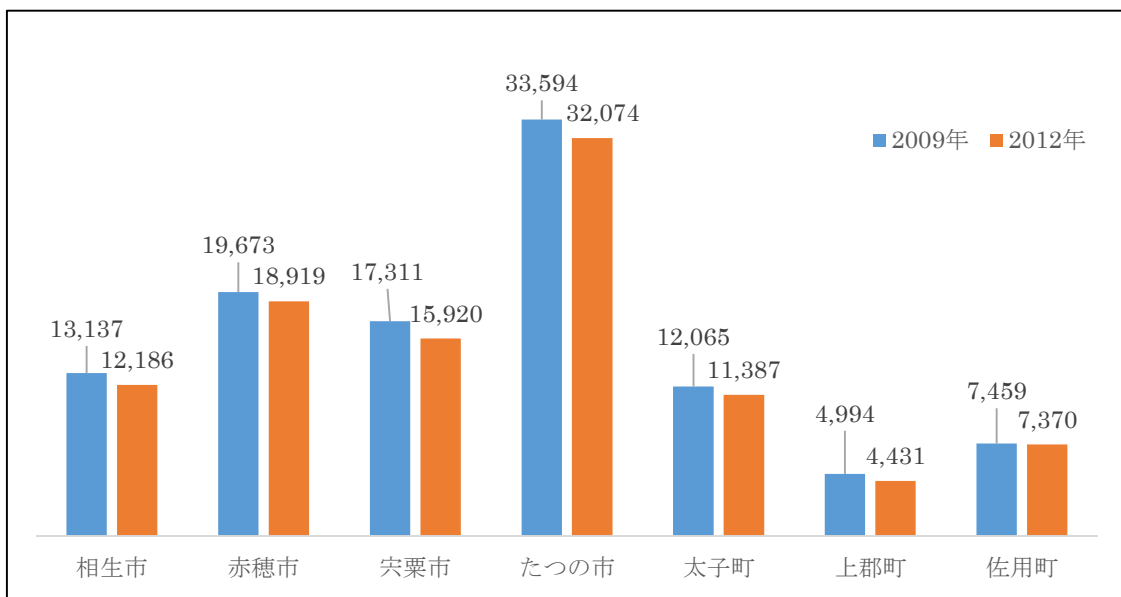
市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	35位	31位	1位	10位	23位	28位	23位
全国順位	900位	829位	96位	270位	647位	727位	647位

黒字赤字企業比率において黒字企業の比率が多いことは、行政にとっては税収が増加につながり、地域経済においては安定した雇用の確保と個人所得の安定につながるため、地域経済の活性力に影響がある。

相生市の黒字企業比率は2012年において82.4%で、県内平均84.0%、全国平均82.5%をいずれも少し下回っている。このため、県内順位は下位、全国順位で中間位置にある。

相生市においては、中分類で最多企業である飲食店と5番目に多い飲食料品小売業の黒字企業比率が77～78%と低くなっており、これらにより全業種の黒字企業比率に影響しているものと思われる。

③従業者数（事業所単位 2012年）



【従業者数（事業所単位）順位（2012年）】

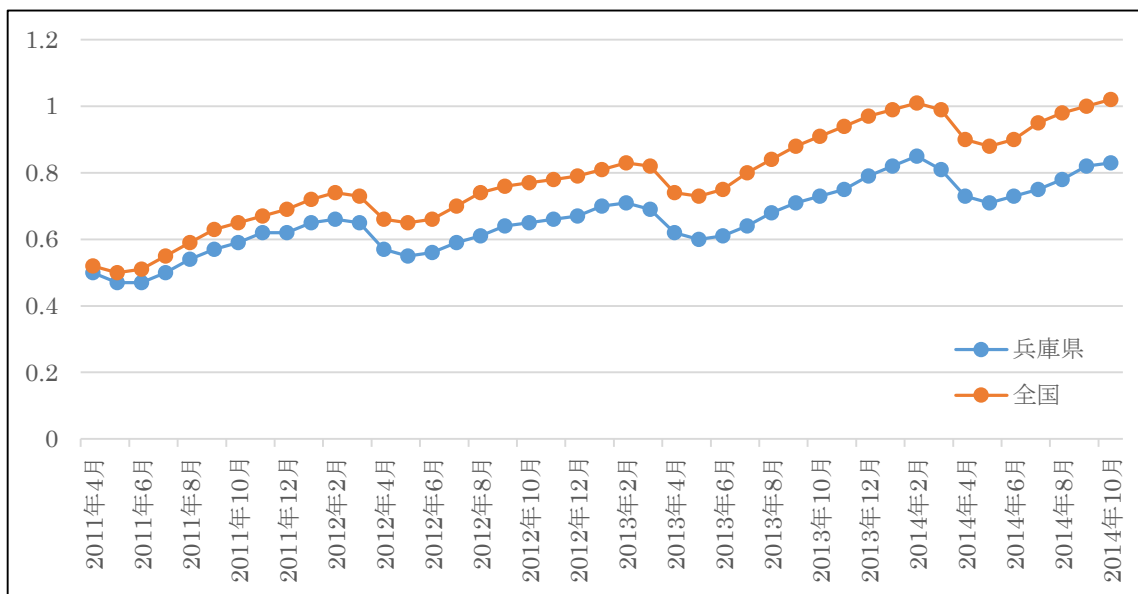
市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	29位	22位	25位	14位	31位	39位	35位
全国順位	743位	547位	620位	326位	769位	1148位	950位

従業者数については、生活基盤を維持するための最も重要な要素であり、地域創生においても新たな雇用確保が求められている要素である。

相生市の事業所単位での従業者数は、2012年において12,186人で県内順位は中位より少し低く、全国では中位より少し高い位置にある。西播磨市町においては、総数で最も多いのがたつの市、次いで赤穂市、宍粟市の順となっており、相生市は4番目となる。これをその年度の人口割合で見ると、相生市は0.391人で、たつの市（0.398人）、宍粟市（0.389人）、佐用町（0.383人）がほぼ同レベル、少し低いレベルが赤穂市（0.374人）、太子町（0.341人）となっており、上郡町は0.266人と最も低くなっている。

(3) 労働環境

①有効求人倍率



※2011年4月時点で兵庫県0.5、全国0.52、2014年10月時点で兵庫県0.83、全国1.02

【有効求人倍率順位（2014年10月期）】

1位	2位	3位	4位	4位	6位	7位	7位	9位	10位	37位
福井	東京	福島	愛知	富山	岐阜	岡山	石川	香川	宮城	兵庫

有効求人倍率とは、有効求職者数に対する有効求人数の比率のことで、有効求人とは、新規求人と前月から繰り越された求人とを合計したものをいう。この数値は、地域における景気動向を計る指標として用いられる。

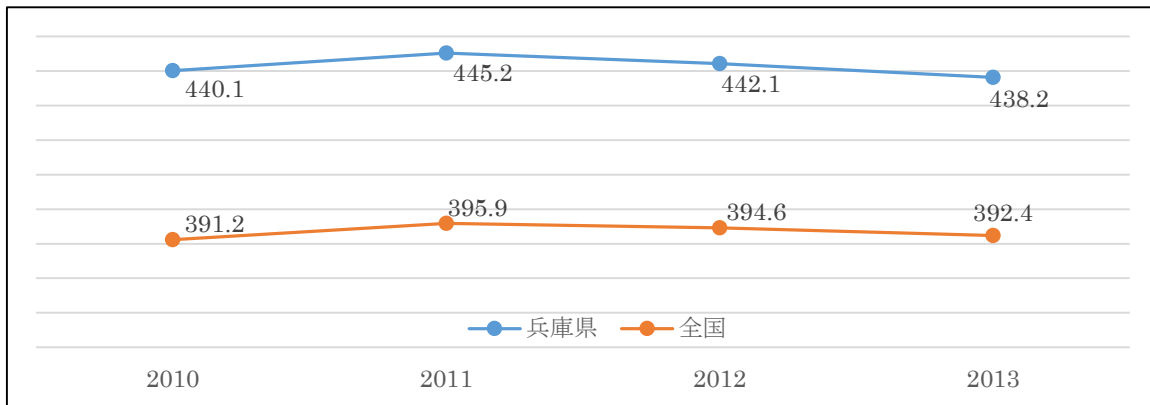
なお、本データは都道府県単位での提供となっていることから、本市単独のデータは得られない。

有効求人倍率は、2008年のリーマンショックの翌年には全国の倍率が0.38となった後、一年ごとに下げ局面はあるものの、現時点では上昇トレンドにある。

兵庫県においては、2014年10月時点0.83で、全国1.02よりも低くなっており、全国順位においても37位と低い位置にある。

②一人当たり賃金

単位：万円



【一人当たり賃金順位（2013年）】

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
東京	神奈川	愛知	大阪	滋賀	京都	兵庫	埼玉	静岡	千葉

一人当たり賃金について、本データも都道府県単位での提供となっているため、本市単独データは得られていない。

世帯を支える年収額は、地域における景気動向を計る指標の一つであるほか、結婚・出産との相関関係も強く、民間調査では男性20～30歳代の年収300万円未満で既婚率約8～9%と最も低いが、300万円以上になると約25%～40%と格段に上がるとの調査結果が出ている。

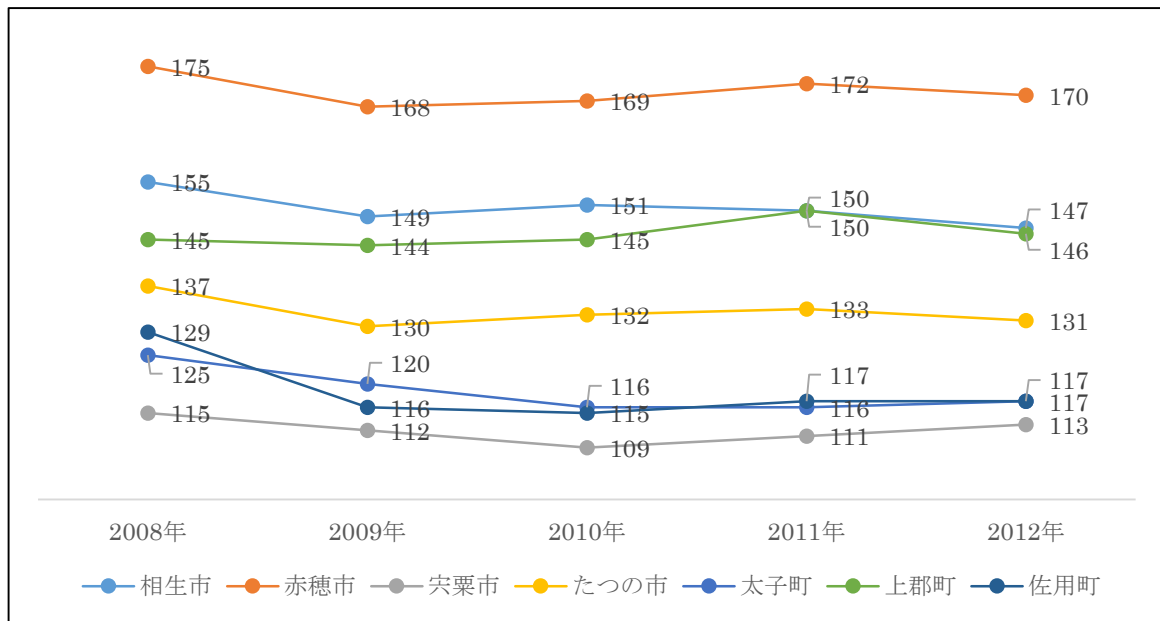
兵庫県の一人当たり賃金の平均値は、2013年で438万2,000円となっており、全国平均の392万4,000円より11.7%ほど高く、全国で7番目に高くなっている。

なお、前述の20～30歳代の兵庫県の一人当たり賃金額を見ると、20～24歳が271万円と300万円以下であるが、25～29歳で334万円、30～34歳で395万円、35～39歳で441万円となっており、25歳以降は300万円を超えている。また、各年代において、兵庫県の金額は全国平均を上回っている。

(4) 地方財政

①一人当たり地方税

単位：千円



【一人当たり地方税順位 (2012年度)】

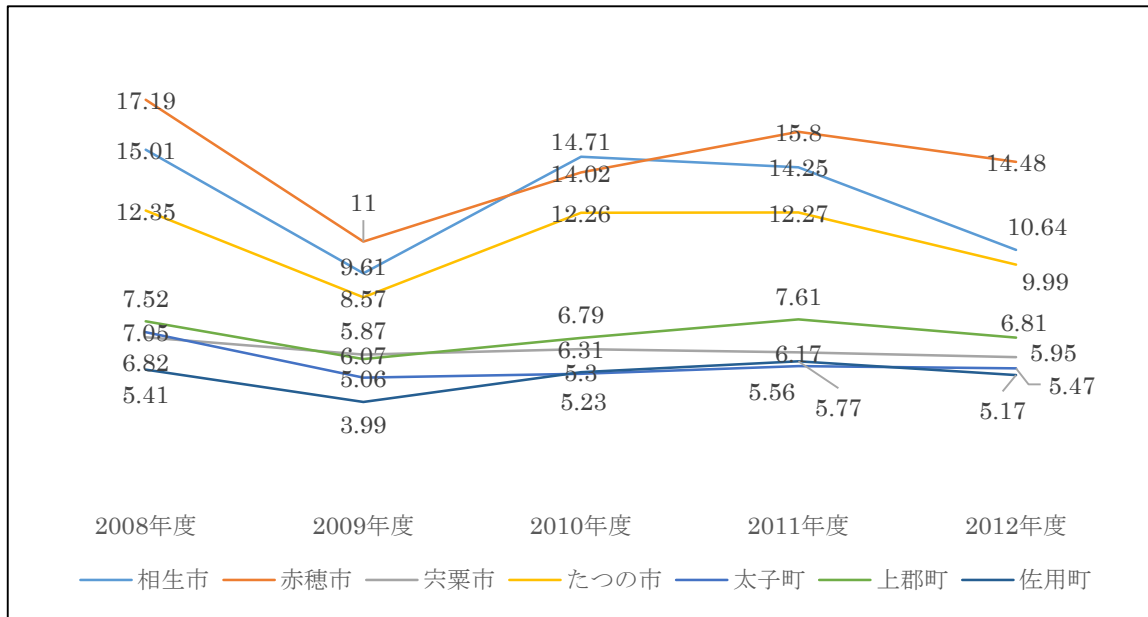
市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	15位	6位	35位	24位	30位	16位	31位
全国順位	376位	199位	878位	588位	812位	387位	816位

一人当たり地方税は、市町村税として普通税である市町村民税、固定資産税、軽自動車税等、また、目的税として都市計画税、国民健康保険税、入湯税等の合計額を人口で除した金額である。

相生市は2012年度が14万7,000円で県内順位15位、全国順位376位となっている。西播磨市町では赤穂市が17万円と突出して高い額となっているほか、相生市と上郡町がほぼ同じで次のグループ、次いでたつの市、下位グループが太子町、佐用町、宍粟市となっている。

②一人当たり市町民税法人分

単位：千円



【一人当たり市町民税法人分順位（2012年度）】

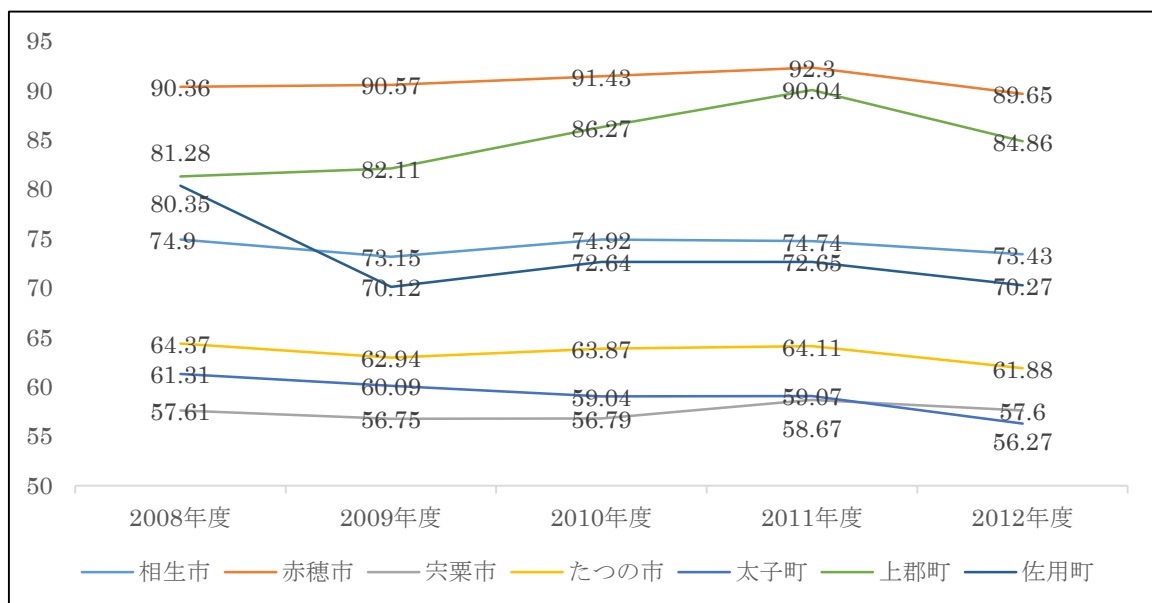
市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	16位	9位	30位	20位	32位	27位	35位
全国順位	478位	244位	1076位	540位	1153位	949位	1215位

2012年度の一人当たり市町民税法人分について、相生市は1万640円で県内16位、全国478位となっており、いずれも概ね上位30%に位置付けている。

西播磨市町では赤穂市が1万4,480円と最も高く、次いで相生市とたつの市が同レベル、その他1市3町が下位グループとして位置づけられる。

③一人当たり固定資産税

単位：千円



【一人当たり固定資産税順位（2012年度）】

市町名	相生市	赤穂市	宍粟市	たつの市	太子町	上郡町	佐用町
県内順位	10位	4位	28位	22位	31位	6位	15位
全国順位	312位	175位	689位	545位	735位	202位	363位

2012年度の一人当たり固定資産税について、相生市は7万3,000円で県内10位、全国312位となっており、いずれも概ね上位20%に位置づけている。

西播磨市町では、上位グループが赤穂市と上郡町、次いで相生市と佐用町が中間グループ、下位グループにたつの市、宍粟市、太子町が位置づけられる。

また、2012年度における2009年度比較での増減率を見た場合、増加しているのは上郡町のみで、相生市の▲1.96%を含めていずれも減少している。最も減少が大きいのは太子町の▲8.22%となっている。